

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： タンドスピロンによる持続性知覚性姿勢誘発めまいの治療経過

### 研究の目的

持続性知覚性姿勢誘発めまい(PPPD:Persistent Postural-Perceptual Dizziness)は難治性の慢性めまいとして、近年知られるようになりました。ただ、まだまだ認知度が十分ではなく不明な点が多い疾患です。当科では疑わしい症例には、NPQ(The Niigata PPPD Questionnaire)の問診票で積極的に診断をしています。抗うつ薬治療が推奨されていますが、気分不良などが生じて、継続困難な症例も少なくありません。そのような場合、当科では積極的に抗不安薬であるタンドスピロンに変更していますが、すでにタンドスピロンの有効性はある程度示唆されていますが、長期的な経過は不明でありその治療効果を調査するものです。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2025年3月31日

対象となる方： 2020年1月1日から2023年12月31日までの間に、当科でPPPDの診断となり加療した患者様

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、投薬内容、タンドスピロン投与後の症状、NPQスコアを確認し、その有効性を検討します。あわせて、年齢、性別、付随症状についても標記研究のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	耳鼻咽喉科頭頸部外科 高畑淳子	電話 0172-39-5099
-------	-----------------	-----------------

